

## 小川駅前周辺地区まちづくりビジョン（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

### 1 実施の概要

(1) 期間 平成25年11月19日～同年12月18日

(2) 意見応募者数 12名

### 2 意見等に対する対応状況

反映	1件
一部反映	2件
参考	29件

### 3 意見等への対応

番号	ご意見等	検討結果	対応
1	なんとなく垢抜けない、さみしいまち。立川や国分寺のように元気のあるまちにして欲しい。	本ビジョンの実現に向けて、まちづくりを推進してまいります。	参考
2	「小川駅西口再開発」を中心にした、小川の街づくり計画は、40年を超える懸案とされてきましたが、結局、実を結べないままで今日まで来ている。(案)では、そうした経過にはいっさい触れてないが、今回は、少なくとも、駅と駅西口周辺の整備の一定の経過説明と現状の安全度の深刻さなどにより、改善が不可欠とする市の姿勢を示す記述を加えたほうがよいのではないか?と思う。	本ビジョンに市の姿勢を示しているものと考えております。	参考
3	駅がきたない。駅がくらい。かっきがない。暗い。とても交通が悪い。店が少ないため、わざわざ国分寺に行く。小川駅におりる意味がないほど何も無い。 駅前がせまくて、そのわりに車が入ってきてあぶない。駅のトイレがきたない。	本ビジョンの実現に向けて、まちづくりを推進してまいります。	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
4	<p>せっかく新しいものを作るのですから、“人が集う”まちにしてください。</p> <p>小川駅は乗り換え駅として利用する人が多くいるので、その様な人（定期券を持っている）が、改札を出て利用したくなるグルメな店やおしゃれな店、こだわりのある店がたくさん入るような商業施設にして欲しいです。</p> <p>以前も書きましたが、ただロータリーの上に改札からフラットの通路を作るのではなく（立川駅のような）、例えば南大沢のアウトレットの様に、その部分にも店舗を入れて、レンガを敷いたり中世の街並みのようにしたりと、建築物一つ一つがおしゃれで、“下車して入ってみたくなる”ような、人がたくさん集える街づくりにしてください。</p> <p>プロのデザイナーに関わって欲しいです。</p>	<p>本ビジョンの実現に向けて、まちづくりを推進してまいります。</p>	参考
5	<p>小川駅を利用する人、住民は高齢者・障害者が多い。安全に移動するために、「生活道路、都市計画道路、駅前広場、駅の整備」のバリアフリー化をお願いします。生活道路が狭いために歩道がなく、誘導点字ブロックがあれば移動がスムーズになります。</p> <p>車道と歩道の境に2cmの段差「または坂」があれば白杖で境の確認ができます。</p> <p>信号機は、自動の音響案内信号機を設置されれば、押しボタンの場所を探したり送信機を用いないでスムーズに横断できます。駅前広場、自転車や物が置けないような歩道があれば安心した点字ブロックに沿って歩けます。小川駅整備も取り組むなら、駅を使いやすくするために、トイレやエスカレーター、エレベーターへの自動音声ガイドをまた、エレベーターの操作ボタンを触れてわかる数字であれば、視覚だけでなく高齢者にも便利です。</p> <p>さらには、駅ホームを広くして視覚障害者にも案内が聴こえるよう「ルーペ方式」、さらには転倒を防ぐホーム柵などを西武に働きかけてもらいたいです。</p> <p>具体的に挙げてきたが、このように弱者が安全に移動できる町に変われば、人は自然に集まり住みやすくなると思う。皆さんが住みやすい本当の福祉の町を心から願っています。</p>	<p>本ビジョンの実現に向けて、まちづくりを推進してまいります。</p> <p>小川駅の整備につきましては、鉄道事業者へご意見を伝えてまいります。</p> <p>その他の具体的な提案につきましては、ご意見として承ります。</p>	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
6	<p>小川駅前には古い建物が密集し防災の面から不安があります。(神戸のようになるのが恐いです。)</p> <p>ロータリーのみ整備してもパチンコ店やゲームセンター、飲み屋さんばかりの駅になったり、不良のたまり場になる可能性もあります。</p> <p>お年寄りには安心して買い物ができる街を、若い人(特に30~40代の子育て世代)にとっても、活気のある楽しい街づくりをお願いしたいです。</p> <p>友人達の話を知ると生活に余裕のある人達は小川駅をスルーして国分寺や所沢や田無で買い物をするそうで、小平の住民でありながらお金は他の市に落としている構造です。</p> <p>小平市が疲弊する前になんとか、今のうちに手を打たないと福祉の充実を願ってもかなわないと思います。小川駅の再開発に期待したいです。</p> <p>それと小川駅を挟んで西町と東町が自由に往来できる広い通路がほしいです。車や自転車を気にしないで通れるお年寄りや子供連れにやさしい街になれば自ずと人が集まって来ると思っています。</p> <p>「木を見て森を見ず」にならないようお願いします。</p>	<p>本ビジョンの実現に向けて、まちづくりを推進してまいります。</p>	参考
7	<p>小さい商店街こそ地域のお年寄りなどに必要。高齢化が進む中、大規模な開発には反対です。</p>	<p>駅西口の整備や駅西口の賑わいを地域の活性化につなげていくための取組みとして、また、防災の観点からも、地元地権者を中心とする再開発事業が必要と考えております。</p>	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
8	<p>小川駅前周辺地区（以下「この地区」という）の将来像として「地域の暮らしの中心となる 住みよい 行きよい 賑わい のあるまち 小川」が謳われています。これは全国のどの町にも当てはまる没個性のスローガンです。これを受けての「まちづくりの方針」も一般論で、小川ならでの具体性が見られません。その次の「課題」では道路を中心とした種々の課題が示されていますが、それらを解決するための方策の提案がありません。「ビジョンとはそんなものだ」と言われればそれまでですが、この地区に住む住民などの関係者がこの暗い世の中で明るい展望を持てる、生活の精神的豊かさを追求する道が示される必要があります。</p> <p>道路について言えば、道路問題の本質は今やクルマへの姿勢です。従ってクルマの優先性を変えない限り、この地区においても住民が安心・安全に暮らせるまちづくりは困難です。まちのシンボルとして駅に隣接する超高層複合住宅施設が提案されていますが、このような構想は、各地域が何百年もかけて育ててきたその土地の個性とは関係なく、まちづくり総合コンサルタントや大手ゼネコンによってつくられ、その町のシンボルにはなりえません。現に東村山駅に隣接した 100m ビルができていて、国分寺駅北口にも更に規模の大きいツインタワーが計画されているようです。このような再開発的事業が住民の切実な願いをどれほどかなえてくれるのか疑問です。</p> <p>近年、“コミュニティ”なる語がよく使われるようになりました。これは人々の集団としてのまとまった生活がその地域の中でほぼ完結する最小の人文地理学的拮がりと言えますと思いますが、まちづくりを考える場合、その広がりには独立したコミュニティを含まなければなりません。「案」が対象とする区域は一つのコミュニティの（ある意味で中心ではあるが）一部分に過ぎません。要するにこの区域だけで関係住民の生活が成り立つことはできないのです。小川駅を核とするコミュニティは、東は府中街道から西はけやき通りまで、北は東京街道から南は青梅街道（の少し南）まで、面積にすれば「案」の対象地区の優に 10 倍を超えるものと思われます。その中に居を構え或いは生業を持つ人々が小川駅に結びついた生活をしているのです。まちづくりの検討はこのコミュニティ全体を生きたものとしてまとめて対象にし</p>	<p>地区の課題につきましては、ビジョンの実現化により解決が図られていくものと考えております。</p> <p>区域につきましては、小平市都市計画マスタープランの地域別構想の中で小川駅周辺地区の方針等を示していますが、様々な課題に応える方針は十分に描かれておりません。そのため、都市計画マスタープランの方針を具現化し、課題の多い駅前周辺地区に絞って設定したものです。</p> <p>その他の具体的な提案につきましては、ご意見として承ります。</p>	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
8 の 続 き	<p>なければなりません。そうして初めてこの地域の特徴ある物事がまちづくりに生かされます。そこでは総合コンサルやゼネコンには分からない地元の慣行やノウハウが役立つでしょう。</p> <p>昔は町役場の担当者（その土地に生まれ育った人が多かった）に地域特有の情報が集まっていた“お上”の権威の裏付けにもなっていたと思われませんが、今日の市役所は正規職員一人当たりの業務量が多くなり（リストラも関係）、現地の生の仕事に関わる余裕がなく、ノウハウの勉強もできず、勢い、業者との契約業務や事業の管理業務に偏りがちになっているのではないのでしょうか。今まちのそこそこにお年寄りや障害者の安全・安心が損なわれるような市民生活上の問題が山積しているのは上記行政がわの歪みにも関係があると思います。</p> <p>例えば栄町の住民は、小川駅周辺に医療や買い物に行くのにも大変苦勞しています。そこでこのような社会的弱者の立場から“小川・栄町コミュニティ”のまちづくりビジョン案を描いて見ます：</p> <p>小川・栄町地域の住民の特徴は後期高齢者の割合が高く、且つ急増していることと身体障害者が多いことです。この人たちは買い物や診療所に行くのが大変です。近所同士の付き合いもおろそかになり、つい自分の部屋に閉じこもって一層病気がちになり、自分の気持ちに反して通院の回数も増えて行きます。このような人たちの生活の改善に駅横に聳える超高層ビルは役立つでしょうか。</p> <p>この人たちに喜ばれるのは、生活道路に沿って植えられた街路樹の緑と“小川”のせせらぎ、更には随所に置かれた腰かけやすいベンチなどでしょう。もう少し具体的にイメージを描いて見ます。</p> <p>このまちを東西に伸びる 3 本の主な生活道路（北から順に中宿通り、小川西保育園通り及びこぶし通り）を水と緑とベンチで再開発します。これくらいの事業なら、関係住民と地元の事業者が中心になって企画・設計・施工まで楽しく進められるでしょう。空き地や空き家屋があれば、オープンカフェ、トイレ、小規模自転車置き場などを適宜配置することができます。せせらぎは野火止用水を利用します。これらの構想の実現には法律に関わる諸問題が立ち足ることでありますが、それこそ市役所の出番です。法令や条例、規則は市民の生活</p>		

番号	ご意見等	検討結果	対応
8 の 続 き	<p>をより豊かにするためにこそあるのですから。</p> <p>以上のようなごく素朴な“水と緑とベンチのまち”の中にお年寄りがのんびり憩っている風景が実現すれば、これこそ個性ある小川のまちのシンボルになるのではないのでしょうか。また、寂れつつある主要生活道路、特に中宿通りの商店街も、この”水と緑とベンチのまちづくり“運動に前向きに関わるにより再興のきっかけが生まれる可能性があります。願わくは貴担当課にはこのパブコメを一笑に付することなく代替案の一つとしてご検討されることを！</p>		
9	<p>市民の通行の安全、車椅子も安心して歩行できるバリアフリー、必要な公共交通が入り、駅へのアクセスの大幅改善と駅の改善をうたって、西武鉄道としてもモデルにしたいようなバリアフリー駅を目指せるような文言を加えて欲しい。具体点では、ホームの幅をもう少し広く取って欲しい。改札口には、もっとサービスを(電光表示、補聴装置、)、東西駅前広場のバリアフリーなども含めて願いたい。西武鉄道の小川駅改造のコンセプトも基本的なものは、この(案)の中で資料として市民に紹介する形でもいいと思う。また、小川駅周辺のまちづくりを考えた場合、西武の敷地の一定部分の提供方を今以上に願いたい。以前の工事工作用車などが入っていた線路エリアや2中プールに隣接の以前の工場の引込み線エリアなどであろうと思う。今は、場所など特定することはしないが、協力いただける意思、姿勢などが表していただけると今後の検討にとってありがたい。</p>	<p>駅の改善や鉄道敷地の提案は、鉄道事業者へ伝えてまいります。</p>	参考
10	<p>本(案)の駅東口のあり方には、隣地に所在するブリヂストン社の考え方はどのようなものがあるのか?会社としての小川地域にかかわる計画や構想などがあるのならば、前項のような資料扱いでもかまわないので、公表されている範囲で、参考として記述願いたい。整備のあり方にも響いてくる可能性も考えられますので。</p>	<p>本ビジョンは、企業の計画や考え方などを記載する性格のものではありません。</p> <p>なお、昨年度、検討した中では、商店会や自治会など地元の皆様の他、地元企業として(株)ブリヂストンの方にもご意見をいただいております。</p>	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
11	<p>現在の西口商店街は車が入りこまないため人が徒歩で歩けるヒューマンスケールの商店街になっており、必ずしもマイナス面だけではありません。周辺の人口や駅利用者の状況からして、従前の街の構造を大きく変えるような都市計画はこの町にそぐわないと考えます。</p> <p>提案書を見ても特徴あるまちづくりをあげていますが、イメージパースはどれもどこでも見る生活感や文化を感じさせない無機質な町並みです。また現状の問題点ばかりを取り上げて良い点を全く見ようとしていない提案になっています。街はそこに棲んでいる人々の暮らしや文化が見える用に作っていかなければなりません。最近多くの郊外の駅前再開発では開発後街の賑わいや活気が無くなり、街の表情にも特徴が無くなってしまいうような例が多く見られます。従前の街の風景が一変するような再開発を見直し今のこじんまりとした良さを活かしながらゆっくりとしたまちづくりをしていただけるよう要望します。</p> <p>今の提案の内容ではどこにでもある町並みになってしまうと思われます。極端な経済成長が見込まれず、地域に根付いた人のぬくもりのある町並みになるような計画が必要と考えます。明らかに時代遅れの提案を再考していただけるよう要望いたします。</p>	<p>駅西口の整備や駅西口の賑わいを地域の活性化につなげていくための取組みとして、また、防災の観点からも、地元地権者を中心とする再開発事業が必要と考えております。</p>	参考
12	<p>本（案）の現況把握やビジョン以降の予想される動きについては、市民の声の一定の反映がされていると思う。しかし、特に、ハード面（道路整備、再開発の建物、）などについては、いわゆる財政事情による影響などに危惧を持っている。ハード面の主なもののおよその見積もり予算、財政内訳、見直しなど、一般論であってもその記述を加えて欲しい。</p> <p>また、超高層タワーの「開発上の」財政的意味が不明なこともあって、防災意識も重なって疑問や止めた方がいいのでは？の市民の声も多いと受け止めている。それについての説明と、国分寺線全体が、国分寺、東村山、小川と「タワー駅」が連なるとシンボル性も薄まるのでは？との意見にも応える記述が必要かと思う。国分寺は、駅の隣で、「タワービル2本がシンボルの再開発」と聞いている。</p>	<p>本ビジョンは、道路整備や再開発の建物などの予算などを記載する性格のものではありませんが、ご意見として承ります。</p> <p>駅西口の再開発事業につきましては、駅前広場の整備を含み、防災や賑わいの観点からも必要と考えております。</p>	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
13	<p>超高層タワー型(100m 級)の複合住宅施設を地区のシンボルに、とはあまりに特徴や魅力のない、ありふれたプランのように感じられます。</p> <p>障害を持つ人や高齢者の多い地区の特徴を生かして、徹底したバリアフリーのモデル地区にしてはどうでしょうか。街路樹の木陰を増やし、随所にベンチでくつろぐスペースを取り、車中心のまちではなく、歩いてゆったり移動できる中小の商店街を中心にした再開発を望みます。大きな建物中心の開発では、移動の困難が生じる人が増えるのではないかと心配です。これから再開発するなら、買い物難民を生まないまちづくりの配慮が必須だと思います。</p>	<p>再開発事業は、地元地権者を中心とした準備組合により、街路樹やベンチの他、広いオープンスペースや商業施設なども検討しており、市といたしましても、準備組合と連携し事業を推進してまいります。</p>	参考
14	<p>ごく最近、東村山市での国分寺線の一部立体化が報道された。小川駅の北の東村山市域の都道と南の青梅街道との両交差の立体化は、2 中通りを含めて本（案）実施過程で問題にされていくのではないかと思うが見通しは？私は、問題にして欲しいと願っている。</p>	<p>本ビジョンは、地区外の計画などを記載する性格のものではございません。</p> <p>二中通りの立体化につきまして、ビジョンの中での位置付けは考えておりません。</p>	参考
15	<p>1 ページ【まちづくりの方針】は「6つの」と数を明記し、番号を振ったほうがわかりやすい。以下それぞれの方針の実現を記述しているので、対応しやすい。</p> <p>3～6 ページの方針の実現にも、各方針に番号を振った方がわかりやすい。</p>	<p>番号付けは、優先順位付けと捉えられるため、現在の形で考えております。</p>	参考
16	<p>まちづくりの方針の1 番目の「高度に集約したまち」は、何が高度に集約しているのかわからない。便利が集約しているのか、活動が集約しているのか、様々さが集約しているのか、施設が集約しているのか、機能が集約しているのか。</p>	<p>施設や交通機能等、様々な意味を含んでおります。</p>	参考
17	<p>方針の2 番目。「小川駅前の再整備」の再整備は何を再整備するのかわからない。駅前広場や都市計画道路は整備されていないので、再整備ではない。駅ができた当初から比べれば、駅前再開発がふさわしいのではないか。新たなまちづくりを目指すには既存施設が集積しすぎている。</p>	<p>「小川駅前の再整備」とは、暫定整備されている駅東口を含めて、再整備という表現にしております。</p>	参考
18	<p>方針の4 番目。「道路」を目指すというのは、日本語として違和感がある。道路づくりを目指すならばわかる。あるいは、「道路を整備する」でよいのではないか。</p>	<p>本方針は、ハードとソフトの双方の取組みを満たす表現としております。</p>	参考



番号	ご意見等	検討結果	対応
19	□の2の小川駅前周辺地区の課題の左の二番目。「東西をつなぐ二中通りや中宿通りは、通過交通の車も流れ込み、危険や不便を感じる・・・」朝夕の交通量が多く、歩道も狭いために危険 中宿通りでは踏切前に信号の無い交差点もあり危険、渋滞や横断に不便を感じている。もう少し丁寧に記述してほしい。	ご意見として承ります。	参考
20	課題の7つ目の商店街について、「シャッターを閉めた店舗が多くみられる」事実を記述したほうがより課題が明確になるのではないかと。	ご意見として承ります。	参考
21	小川東町の対象区域の北東部は、公団混乱地区で、狭い道と未舗装の道があり、災害時には危険だと思うが、課題ではないのか。	生活道路の課題の中で、狭あい道路も含めて表現しております。	参考
22	公共の駐輪場が駅から遠いというのも課題ではないかと。	駐輪場の整備は、駅前広場の整備の中で考えてまいります。	参考
23	3ページの取り組み方針の下から2行目。「地区計画の導入」については、解説が必要。あるいは、「公共的空間の創出」について、具体的に「ビルの壁面後退の規定を地区内の住民の合意により都市計画法で位置づける」や「生垣設置や緑化の基準を地区内の住民合意で決め、法で位置づける」等の記述をした方が一般的に分かりやすい。	「地区計画」の解説を加筆いたします。	反映
24	3ページの取り組み方針の下から1行目の「都市計画の見直し」は、具体的に何を指すのか一般の人にはさっぱりわからないと思う。駅前広場の都市計画線形の変更を意図しているのだろうか、用途地域の見直しまで含むのか。	「用途地域への変更」や「建物の高さ制限の緩和」などが含まれております。	参考
25	3ページの取り組み方針の下から1行目の「高度利用」とはなんなのか。一般の人が理解できる記述がほしい。土地の高度利用とは、容積率、建蔽率の緩和だとか。高さ制限の緩和だとか。あるいは、様々な施設を詰め込むことが高度だとか。	高度利用は、容積率などの緩和を含め、建物の共同化や高層化を図ることを表現しております。	参考

番号	ご意見等	検討結果	対応
26	<p>「高度に集約したまち」について</p> <p>小川駅周辺は、都営住宅に囲まれ、駅前は広がるとはいえそれほどではありません。この狭いなか、超高層タワー型ビルがシンボルになるのでしょうか？建つことで息苦しいものになります。せめて富士見住宅と同じ以上の高さ以下に抑えて欲しい。</p> <p>都内から小川に通う知人が言うには、どこでも同じコーヒー店、同じ食事処、同じ店が駅ビルにあるが小川駅はそうでないのいいと言う。小川しかないお店づくりに力を入れないか？中宿商店街は駅ビルが建てばさらにシャッター通りになります。この建設に市はどれだけの負担をするのですか？それに見合うのでしょうか？野火止があるのだから水と緑を生かしたゆるやかな街並みのある小川にして欲しい。「高度に集約したまち」の問題点が今言われています。地方で個性のあるまちづくり、仕事起こしで頑張っているところに学びませんか。蔵のあるまちの川越、巣鴨の街など。そうした専門家と市が協同し市民も加わり考えませんか。ワークショップで出された「コンクリートではなく水と緑を生かしたまち」が追いやられて高層ビルが主になっているように思います。国分寺、東村山などと同じような店では勝てません。本当に高層ビルでなければならないのか、今一度お考え下さい。</p>	<p>再開発事業につきましては、地元地権者を中心とした準備組合により、超高層タワー型施設の高さ、店舗、既存商店街とのつながり、またオープンスペースの確保なども検討されております。</p> <p>市といたしましても、準備組合と連携し事業を推進してまいります。ご意見につきましては、準備組合に伝えてまいります。</p> <p>事業費につきましては、市費の他、国の補助金等も活用してまいります。</p>	参考
27	<p>4ページの（駅東口のイメージ）図は、もっと東口のイメージを表すものにすべき。今は、ちょっと広がった東口広場と今ある駅舎と西口の高層ビルなので、東口というよりは西口のイメージである。建設中のブリヂストンのビルの完成図などを基に、3ページのまちの将来ビジョンの図のような東口駅前広場再整備とビルイメージを描いてほしい。</p>	<p>あくまでイメージとして描いております。</p>	参考
28	<p>5ページの4～5行目。「防災機能の向上」とともに、緊急車両等平時の救急対応の向上についての記述もほしい。</p> <p>同7行目の取り組み方針の記述に。「西武線」との立体交差を加えた方がわかりやすい。</p>	<p>ご意見の主旨で本文を修正いたします。</p>	一部反映

番号	ご意見等	検討結果	対応
29	<p>6 ページの福祉のまちの中には、バリアフリーの先にある「ノーマライゼーション（障害者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々（弱者）が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。）」という表現をいれるべきではないか。</p>	<p>本ビジョンの誰もが安全に移動できる歩行空間づくりには、ご意見の考え方が含まれているものと考えております。</p>	参考
30	<p>6 ページの「賑わい」の取り組み方針には、地域に根ざした伝統的な祭り（2月の稲荷の初午や4月の神社の神輿）など、商店街以外の団体や市民によるイベントの支援を加えてほしい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	参考
31	<p>車と歩行者の記述はあるが、自転車の記述がほとんどない。このままでは、整備されたビルの前や駅前広場に放置自転車があふれてしまう（他市で問題になっている例がおおい。）公共及び民間の自転車駐輪場の整備をしっかりと方針に入れてほしい。</p>	<p>駐輪場の整備は、駅前広場の整備の中で考えてまいります。</p>	参考
32	<p>7 ページ最後の口の6.「これからのまちづくりに向けて（それぞれの役割）」の説明文章がまとまりに欠ける。以下のようにしてはどうか。</p> <p>「これからのまちづくりは、行政、事業者とともに地域の皆さんにも主体的に関わっていただくことが必要です。特に、このビジョンに示したまちづくりの道路や施設整備に関するハード面の施策に対しては計画段階から情報を共有しながら進めていくことが必要であり、また、まちの賑わいや魅力づくりに関するソフト面の施策に対しては、地域の皆さんが主体となり、行政と連携しながら進めていくことが必要です。」</p> <p>上記の文章は、右側に示された図と「ことば」の整合を図ることも必要だと思う。行政にするのか、小平市にするのか。事業者にするのか、再開発事業者にするのか。地域のみなさんなのか、地域住民か、市民か。</p>	<p>ご意見の一部を加筆いたします。</p>	一部反映